



<イベント案内>

■第4回 삶들 コリア文化サークル発表会

○日時：2019年11月9日（土）18:45～20:45

○場所：生野区民センター・ホール

○参加費：無料

안녕하세요~

KEY・삶들コリア文化サークルの発表会です！

サムルノリ、プンムルノリ、カヤグム、チャンゴチュム、マダン劇

発表を通して在日青年達の葛藤やそれを吹き飛ばすエネルギーが伝わるはず！！

国籍、ルーツ、世代、そんなの問わず、多くの皆さんに観に来て頂きたいです。

お待ちしております□



■キムチづくり体験

○日時：2019年11月24日（日）13:00～15:00

○場所：ちえっচারি

○参加費：¥500

11月のキムジャンシーズン到来！今年もちえっচারিでは、手作りキムチ体験イベントを行います♪ キムジャンとは、キムチを立冬前後に漬ける朝鮮半島固有の文化のことで、2013年にユネスコ無形文化遺産にも登録されました。美味しい白菜キムチを、今回は、スタッフオリジナルのレシピで、ヤンニョンを作るところから行います！作ったキムチはお持ち帰り頂けます！ぜひ友人をお誘い合わせのうえ、ご参加ください☆彡



<活動報告>

●「沖縄と朝鮮のはざま」の著者 呉世宗先生を囲む学習会(9/17)



コリア NGO センター
と KEY 共催で、ちえっ
ちやり (KEY 大阪事務
所) にて琉球大学准教授、

呉世宗さんを招いて、沖縄に暮らすコリアンの歴史
について学習講演会を開きました。

KEY 会員、ちえっちやりサポーター、はじめ、30
人ほどの方々が集まりました。

講演ではスライドも交えながら、朝鮮人の存在に
焦点をあてながら、沖縄戦、戦後の沖縄本土復帰に
ついてのお話を中心に聞くことができました。

そもそも沖縄に暮らす朝鮮人についての記録がほ
とんど残されていないこと、沖縄が抱える加害の側
面についてのお話が特に印象に残りました。

改めて考えると気づきますが、戦前、他の地域と
同様、朝鮮人が移住した歴史があります。しかし、
沖縄は 1945 年の終戦から 1972 年 5 月 15 日までア
メリカの領土であった歴史があります。こういった
特殊性から沖縄に暮らす朝鮮人の存在がほとんど見
えない問題があります。呉世宗さんのお話によると、
沖縄の本土復帰直後に総連が設置され、その少し前
に民団も設置されたとのことですが、ほとんどその
記録が残されておらず、口述記録や人をたどってよ
うやく実態が見えてくるという事実について知るこ
とができました。

この限られた記憶や記録から分かってくるとし
て、被害者の側面が強調される沖縄において、戦
前、いわゆる日本人と朝鮮人との間には差別的関係
があったことがあります。朝鮮人を蔑む偏見意識、
それが虐殺事件にまで至る歴史的事実について、当
時の日本人軍人の証言や記録から知ることができ、
被害的側面と加害的側面が共存する歴史が、沖縄戦
には存在することを知ることができました。

「戦争はいけない。」沖縄戦においては軍人、一
般住民含め 20 万人ほどの人々が犠牲になったと言
われます。今回の学習会を通じて、無数の命が奪わ

れる戦争は二度とあってはいけないと強く思うとと
もに、戦争には被害者と加害者の両側面が併存しう
るということについて、改めて認識することができ
ました。

●アロマワックスバーづくり(9/22)



9/22(日)アロマワックス

バー教室、参加しました□
初めての体験、ドキドキ。

ろうを溶かして型に注ぎ、

様々なドライフラワーやビーズ等をあしらえるので
すが、その材料選びにセンスが出るなど緊張、ピン
ク系とパープル系を集めて並べ、好きなアロマオイ
ルを垂らして、冷蔵庫で固めて完成。所々アドバイ
スもらったので不器用な私にもできました□固め
ている間のおしゃべりも楽しかった、ありがとうご
ざいました□

●むすびの家コンサート(10/22)



多才なアーティスト
たちが集結し、本当
に気持ちの良い、かつ
世の中について考え
させる企画となりま

した。その中に混じって、コリア文化サークルもサ
ムルノリの演奏をしました。僕も急遽、チンを担当
させていただきました。

交流(むすび)の家は 1960 年代にあるハンセン病
快復者の方がホテルの宿泊を拒否したことから始ま
りました。その事実を知り憤った、哲学者鶴見俊輔
さんは同志社大学の授業でこのことを学生に伝え、
その授業を受けていた当時のワークキャンプ団体
FIWC 関西委員会の学生が中心になって「誰でも泊
まれる家を」という思いで、手作りで建設されたのが
交流の家です。

この日のメインゲストはフォークシンガーの中川
五郎さん。2 時間ほどぶっ通しでたくさん歌を歌っ
てくれました。その中で、関東大震災の朝鮮人大虐
殺を取り上げた歌があり、被害者が忘却され、加害
者がねぎらわれる現実に触れる歌詞が強烈で、特に
印象に残りました。